

□■養成所ニュースプラス第5号 2025□■

今月12日に世界経済フォーラムは、「世界男女格差報告書 2025年版」でジェンダーギャップ指数の状況を公表しました。この指数は経済、教育、政治、健康の4つからなり、0～1の範囲で1に近いほど平等となります。日本は0.666で順位は148か国中118位にとどまりました。ジェンダー平等は、2030年までに達成すべき17の目標のひとつですが、このままでは完全平等まで123年かかるとも言われています。共通テキスト4終章に記述がありますので読んでみてください。

今週の受験対策ミニ講座は「受験勉強のスケジュール」についてです。Plus Quizは「ソーシャルワークの理論と方法」から「アフターケア」に関する問題です。選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかも重要です。あわせて考えてみましょう。

■Plus Quiz

【第36回問題105】ソーシャルワークの過程におけるアフターケアに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. ソーシャルワーカーや支援チームの状況変化に応じて行う。
2. クライアントとの間に信頼関係を形成することが目的となる。
3. アセスメントの精度を高めることが目的である。
4. 問題の新たな発生や再発が起きていないか確認をする。
5. 支援計画が十分に実施されたかを評価する。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info

- ・(36期生) 教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・(37期生) 教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。
- ・(37期生) 見込書類(実務経験証明書)のさしかえについて
入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。
- ・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。
- ・(第36-37期生) 今夏のスクーリングの日程及び会場のご案内です。←New
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1531697&c=3246&d=99c7>

■Test Info

- 国家試験に関する情報をお届けします
- ・第38回国家試験は、令和8年2月1日(日)です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1531698&c=3246&d=99c7>
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1531699&c=3246&d=99c7>

■Plus Info

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1531700&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1531701&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【受験対策ミニ講座第2回／受験勉強のスケジュールを立てる】

受験勉強をいつからどのように始めるのかは皆さんにとって関心事だと思います。仕事や家事を抱える皆さんが国家試験に合格するには、学習計画が必要であることは言うまでもありません。皆さんは、1日何時間の勉強ができますか。仕事のある日でも毎日できますか。休日はどのように活用しますか。

ネット上では、社会福祉士国家試験に合格するために必要な受験勉強の時間は300～500時間とも言われています。先輩の中にも300時間を目標にし、勉強できる時間を試験日から逆算しスケジュールを立てた人がいました。しかし、500時間以上勉強をした人もいますし、1ヶ月（100時間）程度しかやらないのに合格した人もいました。実際は、それぞれなのです。

先日、送付した「2026合格応援プラン」に同封のスケジュール表では、250時間程度の学習計画が組まれています。7月から国家試験までの7か月間を5期に分けて勉強を進めていくことを提案しています。

皆さんが受験勉強を続けられるように、平日は1日おきに90分間、休日のどちらかに180分間学習するという提案です。予定した日が疲れてできなくても、週3日ある予備日で取り返すことができる計画です。教材は皆さんそれぞれに合ったものを選択するにしても、スケジュールの見当もつかないという方はたたき台にしたらいかがでしょうか。

また、1年生から知識を蓄積してきたという方や高校・大学受験や資格試験受験の経験があり、ご自身の勉強スタイルがある方は、アレンジして計画を立ててください。いずれにしても、どの位の時間を作り出し、どのように進めていくかという計画は必要になります。試験前に睡眠時間を削って勉強するということがないよう、ご自身のロードマップを早めに作成し行動していきましょう。

半年以上ある国家試験に向けての道のりでは何が起こるかわかりません。うまく進まないときは、自身をモニタリングして再アセスメントし、再プログラムすれば良いのです。一緒に歩いていきましょう。次回は、受験対策本の選び方についてお伝えします。

【Plus Quiz 正答と解説】

今回の問題は、知識を想起する問題です。問題文にあるアフターケアについて想起して、選択肢の説明から最も適切なものを選びます。確かな知識があれば時間をかけずに回答できると思いますが、曖昧な場合は、消去法で正解に迫りましょう。

この科目において「ソーシャルワークの過程」は、「ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ」とともに毎年複数の出題がある頻出事項です。ケースの発見、エンゲージメント（インテーク）から支援の終結と事後評価、フォローアップまでの過程を皆さんの実践と結びつけて理解していきましょう。利用者さんとの関わりが長い場合、支援終結後のアフターケアのイメージがつかめないかもしれません。共通科目12の117・118ページを確認しておきましょう。

1. × 選択肢はモニタリングの説明です。アフターケアは、クライアント側の状況に応じて実施するものです。
2. × 信頼関係の形成はエンゲージメント（インテーク）における内容です。支援開始の段階で行うべきことで、支援の終結後に行うものではありません。
3. × アフターケアは、不安をやわらげ生活課題の再燃を予防することができます。アセスメントの精度を高めるためのものではありません。

4. ○アフターケアは、クライアントの心配ごとや気がかりを受け止め、必要な情報や助言などを提供する段階になります。

5. ×選択肢はエバリュエーション（事後評価）の説明です。エバリュエーション段階では、ソーシャルワーカーとクライアントが介入と結果を評価して生活課題の変化を振り返ります。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus